

～ 考えることを始めた子供たちへ ～

なぜ？

どうして？

問う力は

生きる力！



Society 5.0 時代を主体的に生き抜く “活力ある未来を創造する子”

予測できない変化を受け止め、正面から向き合い、主体的に関わりとうとする姿勢を育成するために、その根幹である「思索力」を養う。

未知の課題を思索し、協働して新たな価値観や行動を生み出す力、AIには代替できない創造性を発揮する素地を身に付ける。

【思索生知】 (しさくせいち)

～ 思索、知を生ず ～

道理や筋道をたどって、物事をよく考えることで、知恵が生まれてくるということ。

思索とは、筋道を立て論理的に考えを巡らせること。物事の道理をたどり、秩序立てて深く考えを進めること。
Ex. 「思索にふける」

学校での学びをヒントに！

冬休みは、家族でも考えてみよう！

〔概要〕 考えることの大切さ！

- (1) 一人一人がテーマに向き合い、思索し、自分の考えを自分の言葉で表現する。
- (2) 事前に、各学年の発達段階に応じたテーマ及び文章構成例を提示する。
- (3) 各学級では、道徳や生活・社会科など関連する授業で、テーマに迫る糸口を！

〔表彰〕 多様な考えに触れて、自分の考えを深める！

- 各学年に「校長賞」として表彰状を授与する。各学年数名程度。
- 独創性、論理的な一貫性、説得力などの観点から選定する。

〔実施予定〕 答えよりも「問い」が大切！「考える道筋」が大事！

- (1) 日程 令和5年1月12日(木) 3学期の最初の短作文の時間です。
- (2) 時間等 通常の短作文の2倍程度の文字数、時間とする。
- (3) 各学年テーマ(問い)

1年生「住んでみたいな こんな町」

2年生「いい友達とは？」

3年生「動物の幸せって？」

4年生「子どもと大人、どちらが幸せ？」

5年生「あなたが思う平等とは？」

6年生「何のために働くの？」